



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2019年5月20日
イオン株式会社
イオン北海道株式会社
マックスバリュ北海道株式会社

東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

岩手・宮城・福島の子どもたちの未来のために 寄付金約890万円を贈呈します

北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）は、3月9日（土）～3月11日（月）の3日間実施した東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」の寄付金約890万円（イオン北海道㈱約655万円、マックスバリュ北海道㈱約235万円）を贈呈します。この寄付金は、東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県の子どもたちの未来を支援する「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英募金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を通じ、3県の子どもたちの生活や就学の支援にお役立ていただきます。

イオンは、「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」を合言葉に、東北の復興・創生に向けて取り組んでいます。今回の寄付のベースとなる東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」や「東北復興支援WAON」など、お客さまにご参加いただける支援を継続するとともに、東北の優れた製品の拡販や交流型の支援活動、商業施設における防災対策の強化など、グループをあげて様々な活動を実施しています。

また、2012年にイオン労使で立ち上げた「イオン 心をつなぐプロジェクト」では、2021年までの10年間に、30万人の従業員によるボランティア活動、東北沿岸部での30万本の植樹を目標に取り組んでおり、ボランティアについては目標より3年早く2018年8月に参加者が30万人を突破、植樹活動についても本年3月に目標の30万本を達成しました。北海道のイオングループでは2014年より毎年、被災地の現状を知り、震災の風化を防ぐことを目的に、被災者から体験談を伺う「語り部の会」を実施しております。

イオンはこれからも、にぎわいあふれる東北の未来に向けて、地域の皆さまと手をたずさえ、グループ一丸となってともに歩んでまいります。



【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 総務部広報・IR 佐藤・山崎
マックスバリュ北海道株式会社 経営企画部

電話：011-865-9111
電話：011-631-5192

ご参考

■ 東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

(2019年3月9日～11日実施)

毎月11日の「イオン・デー」に実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」※について、東北の子どもたちを応援することを目的に、3月は期間を3日間に拡大して展開しました。全国のグループ各社約2,100店舗において、お客さまから専用ボックスに投函いただいたレシートの1%に当たる約8,863万円を寄付します。北海道のイオングループでは期間中127店舗にて実施しました。



※「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、2001年から毎月継続して実施している取り組みです。お客さまにお渡しする“黄色いレシート”を、応援したいと思うボランティア団体の名称と活動内容が書かれた店舗設置の箱に投函いただくと、レシート合計金額の1%相当の品物をイオンから各団体に贈呈するというものです。

■ 語り部の会

北海道のイオングループでは、2014年から、東日本大震災で被災された方の体験談を伺う「語り部の会」を開催し、これまでに2,000名以上の従業員や一般の皆さまが参加しています。「語り部の会」は、東日本大震災の被災者から実際に体験談を伺い、北海道にいる私たちができることを考え実行するきっかけとすることを主たるねらいとし、また、今後も長期的な支援を必要とする被災地の現状を知り震災の風化を防ぐこと、自分たちにも起こりうる自然災害に備え今からできることを考えるなど、防災意識を高めるきっかけとすることも兼ねております。



【2018年11月開催の語り部の会】

■ 「東北復興支援WAON（岩手・宮城・福島）」のご利用金額の一部

イオンの電子マネー「WAON」のご利用金額の一部を地方自治体等に寄付し、地域活性化にお役立ていただく「ご当地WAON」の仕組みに基づき、2012年5月1日に発行した「東北復興支援WAON（岩手・宮城・福島）」の2018年度（2018年3月～2019年2月）のご利用金総額の0.1%にあたる438万4,253円（内訳：岩手県136万6,064円、宮城県153万7,078円、福島県148万1,111円）を寄付します。

